



川崎市看護協会ニュース

vol.107

公益社団法人 川崎市看護協会

〒211-0067 川崎市中原区今井上町1-34 和田ビル3F
TEL. 044-711-3995 FAX. 044-711-5103

会員数 3,586人(令和5年1月1日現在)

https://www.kawa-kango.jp/
E-mail: mail1@kawa-kango.jp

CONTENTS

- ・看護実践能力向上研修 1
- ・訪問看護の理解研修 1
- ・業務委員会活動紹介 2
- ・離職防止座談会 2
- ・新春のご挨拶・トピックス 3
- ・受賞おめでとうございます 3
- ・推薦委員会活動紹介 4
- ・フロント一覧観戦チケット抽選 4
- ・お知らせ・アンケートのお願い・編集後記 4

川崎市の出生数は減少傾向にあり、一方で児童虐待相談通告件数は増加傾向が続いている。私たち看護職ができる事を学ぶために日本子ども虐待防止学会の前理事長で、医療機関向け虐待対応プログラム(BEAMS)の開発などを推進された奥山真紀子先生をお招きし、子どもの虐待に関する研修会を開催しました。子育て家庭に寄り添い、支え、不安を軽減しながら、未来の社会を担う子どもを護るために、看護職の知識やスキルをアップしましょう。

【参考】川崎市の児童虐待件数：過去最多 5年間で2倍強（2016年度2,875件⇒2021年度5,832件）

看護実践能力向上研修



【外来場面を抜粋】



子どもと家族の
メンタルクリニック
やまねこ 医師
奥山真紀子先生

日本医科大学
武蔵小杉病院
看護師
寒竹由香理先生

★奥山講師の資料の一部をご紹介

- ◎外来看護師にできること～通常の(救急)外来で
 - 問診(救急外来のトリアージ・救急隊とのコミュニケーションを含む)
 - ・診察室に入る前の親の状態、親子関係の観察
 - ・診察中の親の状態、親子関係の観察
 - ・問診と医師に話していることの矛盾
 - ・虐待の可能性がある時には医師に伝え、丁寧な診察へ
 - ・診察終了後の観察
 - 医師との協議
 - 必要に応じて院内チームに連絡、もしくは地域連携へ
- ◎外来看護師にできること～系統全身診察の依頼
 - 事前に依頼元(児童相談所や警察)と連携
 - ・事前に子どもに説明して不安を低減させるよう依頼
 - ・情報を元に医師と事前に協議し、方法や役割を決める
 - 例:看護職が子どもと話をして同意を得るなど

★寒竹講師から看護職の対応を事例で解説

- 1) 外来待合室で子どもの行動と母親の態度に違和感を覚えた看護職が、それとなく観察して状況を把握した事例
 - 2) 受傷から受診までの時間の長さに診察医が感じた違和感から、看護職、MSW の虐待チームで話し合い、院内組織的判断で対応した事例
→「家に帰って大丈夫なのか?」の確認
→児童相談所や区役所保健師に連絡
- 結果:病院が支援機関に連絡することを母親が承諾(母親への支援の目線で対応)
- ・保健師等が訪問。継続支援につながった。

参加しました

アタッチメントとトラウマの理論を基に、虐待が子どもの成長発達にどのような影響を及ぼすのか、看護職が虐待発見のために気をつけるポイントについて理解を深めることができました。「小児医療職は子どものアドボケーター(代弁者、権利擁護者)である」という言葉から、自ら発信できない子どものSOSに気づき代弁する役割が重要です。また、子どもを虐待から守るためには、病院・訪問看護・行政など多機関で連携を取ることが大切であることを改めて感じました。幅広いフィールドで働く看護職の皆様と子どもを虐待から守るという思いを共有でき、とても心強く感じることができました。

麻生区役所地域みまもり支援センター 野村 佐那子

訪問看護の理解研修

ポイント!

【支援の考え方】



メディバンクス(株)
皮膚・排泄ケア
認定看護師
村松恵先生

★村松講師の資料の一部をご紹介
退院指導 ≠ 家族のケアの習得

退院指導=新たな生活の準備

「新たな生活の準備」の為の提案をする

- | | |
|-----|--|
| 医師 | ・ケアの簡素化
・NICUと病棟の連携(退院を意識した) |
| 看護師 | ・家族の生活環境を踏まえた退院指導
・地域との早期連携のコーディネート |
| 地域 | ・医療ケアを持つ小児の積極的な受入
・ピアサポート情報の共有 |

参加しました

今回の研修では、疾患や障害がある小児の看護について、医療職の立場と医療的ケア児を持つ母としての立場、2つの方面から話を聞くことができました。研修に参加し、病院内から地域への継続支援が大切であることを改めて感じました。病院内のようにすべてが良い状態で整っているわけではない退院後の生活を具体的に考えることのできる力を看護職は求められています。子どもの成長に伴い家族の悩みや想いも変化していくため、それぞれの家族の生活に関心を持ち、目を向け、その生活を想像し、関係機関が同じ方向をみて、寄り添っていきたいと強く感じました。

(出版委員会委員)
麻生区役所地域みまもり支援センター 間船 結花

子どもに関する研修会として、昨年に引き続き医療的ケア児をテーマに

疾患や障害のある小児の看護

11月10日(木)
参加者数 13名

活動紹介 こんなことしました

業務委員会

現在、業務委員会では、活動目標である地域への情報発信に向けて、次年度の活動内容を検討しています。

全国で唯一の市町村レベルの看護協会であることを活かし、地域に密着した看護協会としてできること、市民のニーズは何か情報を収集しています。主な活動状況として、『かわさきこども食堂ネットワーク』代表の佐藤由加里氏からお話を伺ったり、『川崎市子ども夢パーク』を見学させていただき、NPO法人フリースペースたまりば理事長の西野博之氏から子どもたちの現状についてお話を聞かせていただきました。

その他、『かわさき市民活動センター主催: ごえんカフェ2022』へ参加し、協会のアピールと市内の様々な団体活動の様子を伺ってきました。これらの交流を通じて、市民の様々な健康課題を知ることができ、看護が市民に求められていることを実感しました。また、市民との触れ合いを通して、私たち看護職の視野も広がり仕事への活力になることも感じています。

地域の中で看護職の皆さんとつながれたら心強いな~
(西野さん)



川崎市子ども夢パーク 西野さんと一緒に



川崎市 HP(川崎市子ども夢パーク)より

業務委員会は、市看護協会の方針の中にある…

「地域において看護の力を發揮すること」「一人一人の看護の質の向上と人間的成長を支援すること」

…につながるよう取組を検討していきます。

業務委員会委員長 本山純子 (日本医科大学武藏小杉病院)

離職防止委員会 主催

看護職として働き続けるための座談会 Part2

12/3(土) 開催

テーマ

「看護師として働くことをやめないで欲しい。ずっと川崎市の看護職の仲間でいよう！」

より気軽に参加してもらえるように、開催日時を土曜日にし、会場またはZoomでの参加ができるよう企画しました。8名の方にご参加いただき、座談会は和やかな雰囲気の中で、お互いの思いが語り合える場となりました。



今後も相談できる
場が欲しい



前向きな気持ちに
なれた

メッセージ

今回のテーマなどをもとに看護職の離職防止に向けた委員会活動を行っています。今後も定期的な座談会を開催していくほか、ご要望に沿った支援の実施について新たな企画を検討しています。看護職が一人で悩まず、気軽に参加して頂きたいと思います。

“ずっと川崎市の看護職の仲間でいて欲しい”と願っています！

離職防止委員会委員長 古山美佐 (川崎市立川崎病院)



また、毎年開催の研修会は今年度新たなテーマとして、希望の多かった『医療的ケア児の訪問看護』を開催し、好評でした。

- 開催日 : 8月4日 (ハイブリット形式)
- 講 師 : 島田珠美氏
(川崎大師訪問看護ステーション)
- 内 容 : 小児看護の基礎知識から在宅での応用の仕方、保護者との関わりなど。
- 参加者 : 12名

～参加者の声～

- ・今までの知識が浅かったので、今後の訪問に活かせる
- ・他の職員にも伝達し、職員全員が寄り添った小児看護ができるようになりたい
- ・医療的ケア児の看護を見学したい

- 終了後アンケートでは『研修の満足度』、『研修内容が活用できる』の項目がともに100%でした。今後は実践レベルでの研修の必要性も感じました。

会長からの新春メッセージ

Message from the President

2023年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も COVID-19 感染症に悩まされた年となりました。各現場では厳しい状況の中でも感染対策と確実な看護の提供に努めておられる皆様に、心からの感謝と敬意を表します。

当協会は設立以来26年が経過し、活動の在り方も過渡期にあるのではないかと考えており、昨年の総会において理念や方針等について見直したところです。各常任委員会では、新たな方針に基づき取組を力強く推し進めてくださいました。理事、委員の皆様が、コロナ禍で本来業務が繁忙な中にも関わらず熱意をもってご尽力くださっている姿に感動を覚え、感謝に堪えません。

2023年もこの流れをさらに前進させるため、事務局も一体となって取組を進めてまいります。会員の皆様の一層のご理解ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



堀田会長



公益社団法人川崎市看護協会活動指針より

理念 私たちは、看護職の自律を促し、相互の連携を図ることにより、全ての人の生命の尊厳が保たれ、その人らしく生きていくことのできる社会の実現に寄与します。

方針 I 看護職の自律的な思考と行動を促し、一人一人の看護の資質の向上と人間的成長を支援します。

II 会員をはじめとした市内の看護職の連帯により力を結集し、市民の健康課題の解決に寄与します。

III 本協会と関わる人や団体とのつながりを大切にし、地域において看護の力を発揮する可能性を探求します。



川崎市看護協会トピックス

*11月1日～12月15日現在・コロナウイルス抗原検査キットを市内訪問看護ステーション約100か所に配布

*10月23日···川崎市保健医療調整本部訓練（保健分野）、川崎市災害医療対策会議に参加

*11月4日,5日,6日···第43回かわさき市民祭りで救護所の運営に協力



受賞おめでとうございます

神奈川県保健衛生表彰知事表彰

島田 珠美

(川崎大師訪問看護ステーション統括管理者)

神奈川県公衆衛生協会長表彰

野木 珠美

(健康福祉局保健所感染症対策課)

母子保健功労者表彰

勝俣 喜代子

(さくらバース)

日本家族計画協会会长表彰

柳澤 裕美

(オリーブ母子相談室)

川崎市保健衛生功労者表彰

片谷 寿恵

(川崎市立井田病院)

川崎市保健衛生功労者表彰

上路 麻美

(新百合ヶ丘総合病院)

田中 亜由美

(川崎幸病院)



島田さん



田中さん 上路さん 福田市長 片谷さん 堀田会長



勝俣さん

令和4年度健やか親子21全国大会
(母子保健家族計画全国大会)



柳澤さん



活動紹介
こんなことしました

推薦委員会



推薦委員会の役割は協会の役員(理事)の推薦です。理事会は協会の取組に関する多くのことが決定される場であり、これに参加する理事の候補者を推薦する推薦委員会としても、今後の協会の発展を左右する重要なプロセスに関わっているという意識を持って活動しています。

今年度は令和5年度の役員(理事)改選に向けて、役員選出の考え方を整理し直しました。

市内看護関係団体との連携をより一層強化し、円滑に情報共有や課題認識ができるよう役員の内一定数を市内の看護関係団体より、その団体の代表として候補者を推薦して頂

くようお願いいたしました。(病院看護部長会、老人保健施設看護部会、訪問看護ステーション協議会、助産師会、市立看護大学の5団体から各1名)

今後、団体代表の候補者を含め施設の特性やエリアを考慮しバランスをとりながら、次期役員改選に向けて役員候補者の推薦を行ないたいと思います。

委員は5名で、お互いの病院の情報交換などを交えて交流を図り、委員会活動を遂行しています。

推薦委員会委員長 田中明子(聖マリアンナ医科大学病院)

お知らせ

*会員委員会より

川崎フロンターレホームゲームのチケットプレゼント!

あなたもゲット

地元密着で大活躍している川崎フロンターレの応援と会員の福利厚生の充実、市民向け活動のコラボレーションを目指して、協会が2023サポートカンパニーになります。

会員の皆さんに福利厚生の一環として、2023シーズンの川崎フロンターレホームゲームの観戦ペアチケットを抽選で1試合につき1名にプレゼントします。

応募方法は、2023シーズンの試合日程が公表され次第、川崎市看護協会ホームページに掲載しますので、お見逃しなく!

ホームページを要チェック!!



*教育委員会より

◆ 令和4年度看護研究・活動報告会を開催します

- ・日 時: 令和5年2月21日(火)9:30~16:00
- ・場 所: 川崎市ナーシングセンター (Zoom併用)
- ・講 評: 川崎市立看護大学 老年看護学
講師 岩瀬 和恵 先生
- ・参加費: 無料
- ・募集人数: 会場20名 Zoom 参加100名程度

企画・運営: 川崎市看護協会 教育委員会

申込方法: 川崎市看護協会ホームページまたはQRコード

<https://www.kawa-kango.jp/nurse/training/>



広告

一度着けたら手放せません! 羽根寝具メーカーの足首ウォーマー



- ◆マジックテープで簡単装着
- ◆室内・外出時・お仕事中も
- ◆ズボンの下にも着けられます

お問い合わせ、ご注文は、
こちらの二次元コード又はお電話で

TUK 灰洋羽毛

東洋羽毛首都圏販売株式会社
南東京営業所

0120-559-070
カーゴル 二高時回 9時~17時(土日祝除く)

価格3,100円

*協会ニュースへのご意見募集 (アンケートのお願い)

多くの皆様に読んでいただけるニュースにするために、ご意見・ご感想等をお寄せください。

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で3名の方に1,000円分のクオカードを差し上げます。



QRコードから

編 集 後 記

コロナウィルスとインフルエンザが流行し、お忙しい時期かと思います。それぞれ体調に気を付けて、引き続き、皆様頑張っていきましょう。

出版委員会一同